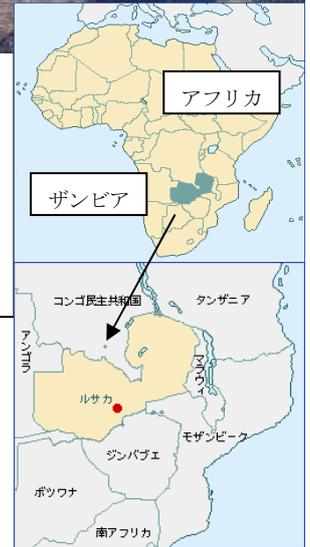




バオバブの木



ビクトリアの滝



アフリカ

ザンビア

NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ニュース第7号 (H24.12.26)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄

はじめに

12月も下旬となり、いよいよ年の瀬が押し迫ってきましたね。今年最後のニュースとして第6号をお届けしましたが、おまけではありませんが、7号をお届けします。皆様、良い年をお迎えください。

会の経過報告

会の活動期間は12月までが一区切りとなっています。活動一年目が終わります。山元先生も一時帰国されました。来月には一年目の活動のまとめと会計報告を予定しています。7月の法人設立からあつという間でしたが、皆様のご協力に感謝申し上げます。

ザンビアでの活動状況 12月12日 ルアノ地区での巡回診療

12月10日から11日にかけて、ルサカでも激しい雨が降り、チペンビヘルスセンターのスタッフ、シバンダさんから翌日のルアノは必ずランドクルーザー2台で来てくれと電話連絡がありました。11日夜中から更に雨が強くなり、ルアノは大丈夫かととても心配でした。12日は、二人の臨床オフィサーがルサカから参加する予定で、私は帰国前の準備で忙しく参加はみあわせました。以下は我が運転手アンドリューの話です。

ルサカを6時前に出発し、チペンビヘルスセンターに到着したのが8:00。8:30にヘルスセンターを出発しました。メイン道路の橋は壊れたままでしたが、何とか通過できました。ルアノへの脇道に入り、ルアノとチペンビの境界にある小川の水量が増えているとのことで、小川を避けるために、別な山道を登りました。道路はまるで川のように、とても滑りやすく、スピードを落としてゆっくり進みました。

ルアノの近くで道路に大きな木が倒れていました。そのため脇道にう回しましたが、ぬかるみがひどく、1台のランドクルーザーはぬかるみにはまって動けなくなりました。もう1台のランドクルーザーとロープでつないで、みんなで押して、なんとか通過しました。ルアノの診療を行う場所の手前の小川の水量が増えている、2台とも前へ進めません。みんなで近辺に転がっている丸太を小川に並べて、どうにか通過。次の小川は別のランドクルーザーとロープでつないでやっと通過できました。

ルアノに到着したのが、12:00。激しい雨の後で、住民は、巡回診療はないものと考えていて、だれもいません。その後患者が少しずつ来始め、15:00ごろから多くなりましたが、帰りを考えて、15:30過ぎには受

付を締め切りました。わずか 25 人の患者を診察・投薬しました。

3 回も動けなくなったランドクルーザーはエンジンも 4200cc で、片方の車 3000cc と比べて、重いので、帰りは重いコンテナなど軽い方のランドクルーザーに移し換えました。そして難儀した小川を避けるために、住民が教えてくれた別な道に行くことになりました。ルアノを出たのが 16:30 でした。

ところが、教えてもらった別の道が、ひどいぬかるみで、ついに軽い方のランドクルーザーも泥にはまって動けなくなりました。今度は逆にロープで引いてもらって脱出。次は別の重いランドクルーザーが動けなくなり、これが 4 回続いてあきらめて、いつもの道に戻りました。そして、最初の小川は再度ロープでつないで通過。次の小川は丸太の上を何とか通過。大きな木が倒れている地点で迂回して、また泥にはまってしまいました。そしてもう一度。

写真を見てもらうのが一番わかりやすいと思うのですが、計 10 回、動けなくなり、そのたびに引いたり押ししたりして抜けてきました。チペンビヘルスセンターに到着したのが、20:30、いつもより 2 時間よけいにかかっています。ルサカ到着が 23:00。雨が降っていなかったのが幸いでしたが、みんな泥だらけ、車の内部も泥だらけでした。1 台のランドクルーザーのディファレンシャルボックスのカバーはこわれてはずれ、泥だらけになっていました。みなさん、ほんとうにおつかれさまでしたと頭の下がる思いでいっぱいでした。

1 年以上、活動を続けていますが、2-3 回ぬかるみにはまることはありましたが、このようなひどい状況はじめてです。ルアノは携帯電話の電波の届かない所で、事前連絡がとてもむずかしいのですが、できることならば激しい雨の直後は巡回診療を延期する。診療の場所を、小川を避けて手前の別のコミュニティスクールで実施する。どうしてもむずかしいならば、月 2 回の診療を 1 回とし、1 ヶ月分の必要な医薬品とマラリア検査キットをコミュニティヘルスワーカーに渡すなどを代替策として考えています。私は、残念ながら日本に戻りますので、アンドリューとヘルスセンターのシバンダさんに、安全を第一に考えて、柔軟に対応してくれるように念を押して依頼しました。

始めて参加したクリニカルオフィサーのピリさんからは、たいへんなエネルギーとお金を費やして、費用効果が低すぎるので、ルアノに行くべきではないとだいぶ小言を言われました。しかし、待っている人々がいる限り、活動を中止することはできません。運転手のアンドリューも中止できない、ヘルスセンターのシバンダさんはがんばって月 2 回続けようと言ってくれます。正直、とても困難で危険な仕事です。それをがんばって続けようと言ってくれる仲間がいることにととても勇気づけられています。この巡回診療は、山元個人の手を離れて、彼らザンビア人の活動になってきていると感じています。



法人口座について 法人口座として郵便局に下記振替口座を開設しました。賛助会費(一口 年 5000 円)の送金と日高 (hidaka1956@gmail.com) への連絡をお願いします。

★郵ちょ銀行からの振替

口座記号番号 01720-9-126351

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金

郵ちょ銀行 店名：179、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会